

「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 長浦台区

日 時 平成 21 年 4 月 14 日(火) 19:00 ~ 20:50

場 所 長浦台共同利用施設

出席者 (市 民) 36 人
(執行部) 16 人

井上市長、平島副市長、關教育長、木村総務部長、
三笠協働のまち推進担当部長、松田市民生活部長、
松永健康福祉部長、新納建設経済部長、宮原上下水
道部長併会計管理者、山田教育部長、松島議会事務
局長

(事務局) 今泉経営企画課長、齋藤広聴広報係長、高原主任主
査、諫山協働のまち推進課長、藤田地域コミュニテ
ィ推進係長

会議内容 (進行：今泉経営企画課長)

- 1 開会あいさつ(経営企画課長) 19:00 ~
- 2 区自治会長あいさつ(区自治会長) 19:02 ~
- 3 市長あいさつ(市長) 19:04 ~
- 4 市職員自己紹介(経営企画課長) 19:11 ~
- 5 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) 19:14 ~
- 6 「懇談」質疑・意見交換(経営企画課長) 19:32 ~
(別紙)
- 7 閉会あいさつ(副市長) 20:49 ~ 20:50

	発言の主旨	回答
意見 1	<p>行革について 数年前市議会の定数を 20 から 2 削減することと政務調査費の減額が議員提案でなされて議会で否決された。折角の行革の芽が潰れたことについて、今後市長は行革をどう考えるのか。</p>	<p>(市長) 【画面説明】 議長に対して問題提起は行います。定数は現在 20 名ですが、市民の皆様も多いと考えていると思います。これは、自浄作用で議会の中で自ら提案し、自ら行政改革に努めることが大事だと思います。平成 22 年までに何がしかの動きが出てくるのではと思います。政務調査費もご指摘のとおりですが、無駄な支出はされていないことは説明しておきたいと思っています。有効活用され政治の中に生かされればと考えています。他の行政改革としては、本年 4 月から保育所の民間委託をしました。1 つの保育所は 1 億 4 千万円かかっていましたが、人件費が主なもので、これを民間委託すると 1 億円を切ります。また、学校給食も民間委託しています。これらの費用を他の事業に振り替えることができ、今の行政運営ができていますと考えます。</p>
	<p>昨年 J R 太宰府駅の委員会が設置され検討されていると聞いた。駅設置には賛成だが、渋滞がこれ以上激しくならないように開通と同時にアクセス道路の整備をしてほしい。3 月議会の質問で渋滞が激しいからまほろば号の西鉄都府楼前駅乗換に対して理解してほしい旨の答弁があった。</p>	<p>(市長) 平成 2 年から 3 年に J R との取り決めがあり、J R 都府楼駅が開設される時期に、J R 太宰府駅の開設の要望を行いました。将来的にはまちづくりとして行っていく、J R 九州も協力することになっています。【画面説明】議会の中においても私は、はじめに駅ありきではなく、地元の皆さん方の意向であるとか、財政状況がどうであるか、ということから総合的に勘案しながら、周辺地域の面的整備を含めた枠組みを継</p>

		<p>続いて検討し、平成 20 年度中に基本方針を決定するようにしています。議会の中でも特別委員会が設置されています。</p> <p>他へのアクセス等全体的な整合性が必要です。佐野の区画整理事業は 20 年で 200 億円かかりました。一般財源も約 80 億円かかっています。このような市の直営では困難で、民間での組合施行、それもゾーンを分割してやっていく必要があると考えます。ただ、いろいろな問題もあり、平成 21 年度の予算の中にも地権者、識者の協議会を作るための費用を計上しています。時刻表に J R 太宰府新駅が掲載されることは良いことと思いますが、そこに太宰府天満宮や九州国立博物館があるなど、遠方からのお客様が誤解されてはいけないので、交通アクセスを考える必要があると思います。御笠川にモノレールを引くというような夢のような話もあります。どうすれば交通渋滞を緩和できるか考える必要があると思います。</p> <p>まほろば号について、バスが渋滞に巻き込まれることがないように西鉄都府楼前駅で乗換制度を導入しました。西校区から直接市役所に行けないようになっていましたが、朝の数便は、降りることなく、直接市役所まで行くことができるようダイヤ改正で改善されています。携帯電話でバスの情報も発信していますし、平成 21 年度中には、西鉄都府楼前駅前には電光掲示板を設置する予定で、バスが今どのあたりまで来ているのか、高齢者の皆様</p>
--	--	--

	<p>市民プールは借地と聞いている。もし借地であるならば、1年間の借地料がいくらかかっている、利用料との差額を知りたい。</p>	<p>にも文字で分かるようになります。</p> <p>(市長)</p> <p>以前は借地でしたが、現在は違います。年間600万円～800万円の地代を払っていましたが、最近1億円ほどで買い上げを行いました。市民プールに限らず公共施設は、民間の経営者に委ねて行う指定管理者制度を導入しています。市民プールはシンコースポーツに委託しています。おかげさまで、利用者も伸びています。</p>
<p>意見2</p>	<p>地域コミュニティについて、昔のようなコミュニティに戻すことについては賛成である。市民として協力したいと思うが、元に戻すための長期的ビジョンはあるのか。</p> <p>高齢化対策は一律皆に訪れることであるが、少子化対策は計画的事項もある。若い人たちへ良い提案ができる計画があれば教えてほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>まにまに日記の平成20年7月12日に掲載していますが、以前は農家など協力しあって行っていました。子どもも地域で育てることが行われていました。現在、子育ては施策として行われています。保育所には待機児童が40名ほどいましたが、南保育所の定数60名を90名にし、待機児童を無くしました。また、3人以上同一保育所に通われる世帯は3人目から無料にしています。また、私の報酬を一割カットし、そのような事業に振り向けています。あるいは、妊産婦に検診も平成21年度中には14回にする予定です。</p> <p>地域コミュニティは、区民の皆様にも動的に参加していただきます。</p> <p>高齢者の方の能力、技能を拝借しながら、行政と市民が住み分けしまちづくりを行っていきたくと思います。行政が何もかも行う時代は終わり、行政は後方支援を行うことで、安全安心のまちづくりの素地を作るのは行政で、どのようなまちづくりを行っていくかは市民の皆様との協働と考えていま</p>

		<p>す。「協働のまちづくり」は第4次総合計画の中で、市民の皆様から提案がなされていました。第4次総合計画の終わりがけで漸く行動に出たとご理解いただきたいと思います。第5次の総合計画にも具体的に掲げて考え方も示して行きます。</p>
	<p>太宰府は学園都市であるが、若年層の引きとめ策はあるのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>【画面説明】</p> <p>起債残高の推移 起債残高38億円減 平成17年度市債残高 24,731百万円 平成18年度市債残高 23,816百万円 915百万円 平成19年度市債残高 21,960百万円 1,856百万円 平成20年度末市債残高 20,873百万円 1,087百万円</p> <p>史跡地の買上げ(補助制度) 歳出決算 平成15年災害(想定外) 経常収支比率の推移 職員数の推移 現在345人 臨時・嘱託職員について住民の雇用 昭和57年以降、様々な都市基盤整備を行ってきました。あとは、福祉と教育の分野に関して、背伸びしてでも筑紫地区に追随し、市民の皆様が、不自由のないように予算編成を行っていきたいと思います。</p>
	<p>地球温暖化対策は、宇宙規模の話である。将来特に高齢者の病気が増幅する状況が十分に考えられるが、その対策は。</p>	<p>(市長)</p> <p>温度が一度あがることで、農作物などに影響も出てきます。ダイオキシンの発生や自動車燃料の問題など、地球規模の視点で取り組む必要があると思います。環境問題がどの自治体よりも優れているのは太宰府市だと思います。</p>

		<p>早いうちからいろいろな取り組みをしていました。一人一人の問題として取り組めば、防げると考えます。</p>
	<p>水道、火葬場、ゴミ処理などの広域行政については理解できるが、今後太宰府市独自のものはできるのか。長期的ビジョンは。</p>	<p>(市長)</p> <p>平成 21 年 4 月から火葬場について、北寿苑から筑慈苑に変更しました。単独で建設を行うと、24～25 億円必要でしたが、大野城市、太宰府市を含めて加入負担金 12 億で済むようになりました。また、ゴミ焼却についても、福岡都市圏南部で組合を設立しました。平成 28 年の稼動に向かって、今協議を進めています。このように広域行政を行うことで、地球に優しいまちづくり行うことができます。可能なことは共同事務処理を行い、将来の軸をしては、合併、道州制も出てくること、筑紫地区の首長会でも研究を行っています。市民の目線で行政運営を行っていきます。</p>
意見 3	<p>筑紫地区が市町村合併するときに「太宰府市」の名前は残るのか。太宰府の名は誇りがある。</p>	<p>(市長)</p> <p>合併問題で、名称は重要な問題です。</p> <p>【画面説明】</p> <p>まちぐるみ歴史公園構想</p> <p>「太宰府」の名前について、有力な名前は修練されるのではないかのとの希望的な観測を持っています。有力な選択肢であると思っていますが、全体で決めることです。</p>
	<p>過去、筑紫野市との合併問題があったときに、太宰府市を絶対に残さなければならないとのことで、合併の話が消えた。</p>	<p>(市長)</p> <p>歴史認識が一致すれば、必然的にその方向で落ち着くと考えます。当然首長としては、その方向に向かって、努力しなければならないと考えます。</p>
意見 4	<p>気になるのは、太宰府駅について、市長の話は、国立博物館までのモノレー</p>	<p>(市長)</p> <p>九州国立博物館の開館前に検討した</p>

<p>ル構想などかなり大掛かりな計画である。資金はどうなるのか。水道料金が 高い。市民生活にかかってくるような ことは止めてほしい。むしろ検討して ほしいのは、土日の渋滞で、市の中心 部に行けない。正月は仕方ないにして も普段から身動き取れない。現状での 交通体系をどうするか考えてほしい。 解決するにはどうすればよいか考えて ほしい。</p>	<p>とき、JR太宰府駅のための建設は、5～ 6億円で可能との試算をしました。その ときJRからは請願駅であるので、全 額地元負担と言われました。県からは 「100%でなく、JRも1割負担すると の」話がありました。民間の力を借り て行う方法、借金で行う方法、いろい ろな方法がありますが、身の丈にあっ た方法で行うべきと考えます。ある程 度の借金はしていかないと「まちの活 性化」には繋がらないと考えます。</p> <p>水資源について、渇水対策はできて おり、将来的に8～9万人程度の人口 までは大丈夫です。水道料金が低い理 由は、ダムよりも高い所に団地造成さ れたためです。またダムが少なく、水 を購入している状況です。来年以降は、 値下げを検討しています。議会でも名 言しています。</p> <p>土日の交通渋滞は、太宰府市の懸案 事項で、平成19年～20年も基本調査 を行いました。新設道路の整備をすれ ばいいということではなく、交通規制 や、また相手があることですが、駐車 場の料金徴収方法などの変更も一つの 方法です。例えば連動型の踏み切りな どで渋滞解消を行っていきたいと思 います。筑紫野古賀線は県事業ですが、 平成22年度までに4車線化に着手でき ると思います。</p>
	<p>(市長) 【画面説明】 まちぐるみ歴史公園構想</p>